

第51期 中間報告書

2025年6月1日 ▶ 2025年11月30日

Contents

- | | |
|-------------------|----------------|
| 株主の皆様へ | サステナビリティ活動 |
| 中間業績(連結) | 株主様アンケート結果のご報告 |
| 中間期のセグメント別概況(連結) | 連結財務諸表 |
| 2026年5月期業績見通し(連結) | 株式の状況/会社概要 |
| Topics | |
| 製品紹介 調芯システム | |

Light Solutions for Life.®
光なら、きっとできる。





経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

「感謝」「挑戦」「創出」

光技術を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

当中間連結会計期間は、売上高が前年同期比2.0%減の54億4千1百万円、経常利益は前年同期比0.7%減の5億8千9百万円となり、前年同期比で減収減益となりました。

世界経済は、米国の相互関税を巡る動向や、各金融政策の変更、地政学的リスクの高まり等により先行きが不透明な状況が続きました。当社においては、エレクトロニクス業界向けの一部の大口顧客の需要が軟調に推移いたしましたが、海外地域向けの需要が回復基調で推移し、バイオ業界向け等の自動応用製品が堅調に推移するなど回復の兆しが見えてきております。このような中、これからの中長期的な視点に基づく企業風土への変革・実践に向けて、「成長戦略」、「ビジネスモデル変革」、「事業継承・中核人材育成」、「社会貢献」の4つを重点戦略とする中期経営方針「Great Reset」を推進しております。最先端のPIC（光集積回路）等の評価・組立に不可欠な「調芯システム」の需要が好調に推移する等、取り組みの成果が一つずつ表れてきております。「Great Reset」を確実に達成し、持続可能な社会への貢献に邁進する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社
代表取締役社長 **近藤 洋介**



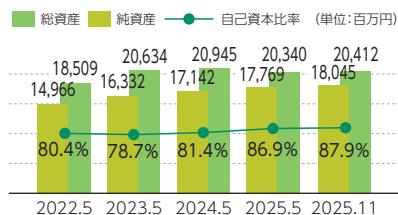
中間業績（連結）



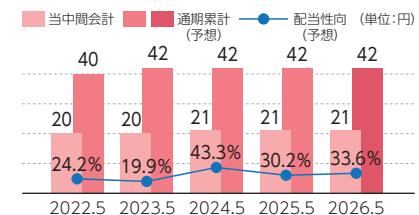
**親会社株主に帰属する中間(当期)純利益
3億82百万円** (前年同期比 5.3%減)



総資産・純資産・自己資本比率



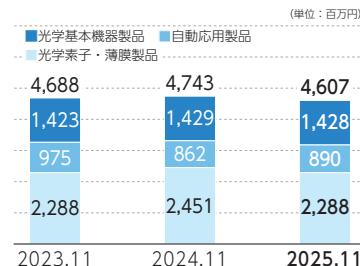
配当金、配当性向



中間期のセグメント別概況（連結）

▶ 要素部品事業

売上高  2.9 %減 (前年同期比 1億35百万円減)



POINT エレクトロニクス業界向け光学素子・薄膜製品が軟調

海外向けは回復基調も、国内のエレクトロニクス業界の大口顧客向けの光学素子・薄膜製品が軟調に推移し、光学基本機器製品も弱含みで推移いたしました。反面、自動応用製品は、バイオ業界向けが堅調に推移し、研究開発分野や通信業界向けは好調に推移いたしました。この結果、値上げ効果もありつつも、総じて軟調に推移いたしました。

▶ システム製品事業

売上高  2.7 %増 (前年同期比 23百万円増)



POINT エレクトロニクス業界向け堅調、防衛業界向け好調

電子部品・半導体関連のエレクトロニクス業界向けにおける製造装置・検査装置への組込み用途の光学ユニット製品及び光学システム製品が堅調に推移いたしました。又、防衛業界向けの光学システム製品が好調に推移した他、放射線測定関連の大型案件の納品などがありました。この結果、総じて堅調に推移いたしました。

2026年5月期業績見通し（連結）

2025年7月11日に公表いたしました業績予想からの修正はありません。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額（通期累計）
11,695百万円 (前期比 1.0%増)	1,220百万円 (前期比 7.9%増)	1,320百万円 (前期比 4.0%増)	885百万円 (前期比 10.2%減)	42円 配当性向(見通し)33.6%

外部環境

- 世界経済の先行きに不透明な状況が継続
- 主要マーケットの電子部品・半導体業界向けは、期後半に向けて緩やかな回復が期待
- バイオ、通信、防衛分野も回復し堅調な推移に期待

売上高（収益要因）

- 中国地域＆欧州地域向け持ち直し
- 規格品における価格改定の効果
- 自動応用製品の通信向け需要増
- 電子部品・半導体業界向け需要回復期待

営業利益（費用要因）

- 人的投資の増加
- 設備投資・減価償却費の増加
- 研究開発投資の継続

配当額

- 配当性向30%を目指とした安定配当の継続



Topics 製品紹介 調芯システム

調芯システムは、PIC（光集積回路）、光ファイバ、光導波路、通信用モジュール等、光学デバイス及び光学部品等における調芯（光軸調整による光接続等）を行う自動アライメントシステムです。

導波路調芯（パッシブデバイス調芯）



全体像

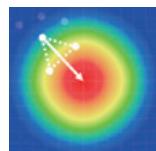


拡大

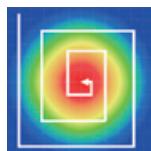
左右6軸合計12軸の自動ステージを搭載した調芯システムです。自動で調芯動作が可能な専用アプリケーションを用意しています。

多様な自動調芯ロジック

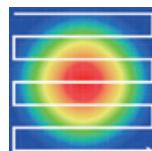
※任意動作パターンのマクロ登録も可能です。



ネルダーミード調芯



スパイラル調芯

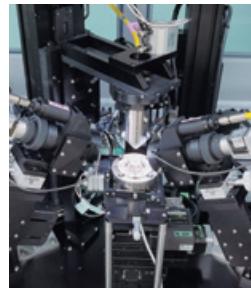


ラスター調芯

LD/PD調芯（アクティブデバイス調芯）



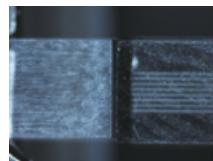
全体像



拡大

通信用モジュールの自動調芯及び溶接まで対応可能なシステムです。測定・評価に加え、調芯や溶接などの各工程をサポートする専用アプリケーションを用意しています。

使用例：



光モジュールと
ファイバアレイ間の調芯

主な用途：

- 次世代/最先端研究開発
- 光通信デバイスの調芯・組立・評価
- シリコンフォトニクスの調芯・組立・評価
- 車載モジュールの組立・評価
- 光電融合デバイスの組立・評価
- 量子デバイスの組立・評価等

調芯システムは、低損失・高品質通信及び高信頼性の光デバイスの実現等に向けて、精度の高い多軸制御技術等を提供します。当社は、長年培ってきた「光」と「モーションコントロール」の技術を組み合わせ、最先端の研究開発・生産現場で要求される高い技術対応力と信頼性を提供しています。調芯用に最適化したソフトウェアとアルゴリズム、高精度・高剛性で信頼性の高い機構部、ユニット別に拡張できる制御部等をユニットやパーツから提供可能で、お客様の様々なご要望に対応しています。

調芯システムデモ機のご案内

システム導入のご検討にあたり、実機での操作性・再現性・評価手順をご確認いただけるデモ機をご用意しています。調芯テスト、サンプル評価、設備貸出（要相談）など、お客様のご要望に応じて柔軟に対応いたします。

詳しくはこちら▶



サステナビリティ活動

BCP安否確認システムの導入＆訓練を実施

近年、自然災害等の発生頻度が増えており、緊急事態発生時における迅速な従業員の状況把握の重要性が高まっております。この度、既存の緊急連絡網の他に、緊急事態発生時の安否確認システムを導入しました。本安否確認システムは、従業員とその家族の皆様の安否状況を早期・確実に把握し、従業員と家族の皆様の安全の確保と、管理者の管理負担軽減を目的としています。導入後は、各拠点で順次、安否確認訓練をする等、従業員に対して安否確認の重要性の理解促進に取り組んでいます。今後も、緊急時における従業員の安全確保と初動対応体制の整備及び強化に努めています。

eラーニングの導入＆コンプライアンス研修を実施



この度、全従業員に対する教育内容の平準化と均質化に向けた教育ツールとして、eラーニングを導入しました。

事業年度ごとにeラーニング研修のテーマを定め、全従業員が同一コンテンツにて継続的に学習できる環境を整えました。今年度は「コンプライアンス」をテーマに設定し、各従業員のコンプライアンス意識の向上の実現を進めています。また、将来的には従業員各自が自分の課題を見つけて自己研鑽する会社風土が醸成されることを目指しています。

株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第50期報告書で実施したアンケートは、当社の全株主様5,820名（2025年5月31日時点）の約3.6%に相当する214名の株主様からご回答いただきました。皆様よりお寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

株主様からのご質問

Q 光分野の独自技術を活かした他分野とのコラボレーションに期待します。

A 当社では、中期経営方針の中で、「ビジネスモデル変革」を掲げており、特定マーケット向けの完成品及び装置等への取り組み事例が増えております。「光ソリューション・カンパニー」として長年蓄積してきた光学設計・機械加工・システム化等の中核技術に加えて、特定産業分野の専門企業様とのコラボレーションを推進することで、新製品開発・市場投入の早期化とともに、各産業別の商習慣等に合わせた事業展開を進め、当社事業の更なる高付加価値化を進めてまいります。

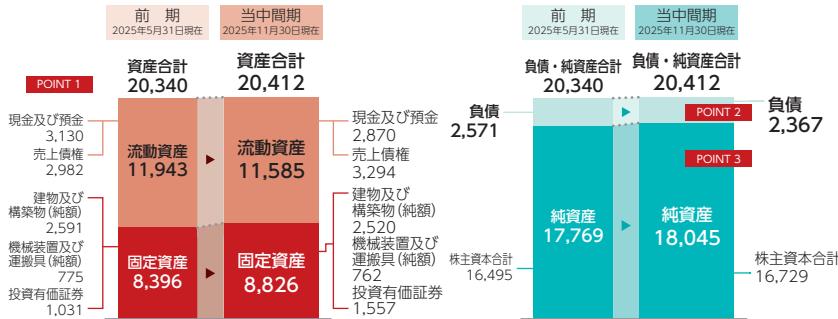
Q 女性が活躍できる職場の取り組みの成果がさらに進むよう願っています。

A 当社は、様々な環境変化への柔軟かつ効率的な対応のために、多様な人材が個性を発揮できることが重要と考えております。そのため、多様性の推進を含む社内研修及び人事制度の見直し等の社内環境整備を推進しております。その結果、2025年5月期における課長相当以上の役職者に占める女性労働者の割合は、2021年5月期の0.0%から大幅に増加し、7.9%となりました。引き続き人材育成及び社内環境整備等に取り組み、異なる視点や価値観等の多様性を尊重する組織カルチャーの醸成に挑戦してまいります。



連結財務諸表

連結貸借対照表の概要



POINT 1

資産の変動

流动資産は、受取手形及び売掛金が増加し、有価証券、現金及び預金がそれぞれ減少したこと等により、前期末から3.0%減少しました。固定資産は、建物及び構築物が減少しましたが、資金運用商品の見直し等により投資有価証券が増加したこと等によって前期末比で5.1%増加しました。

POINT 2

負債の変動

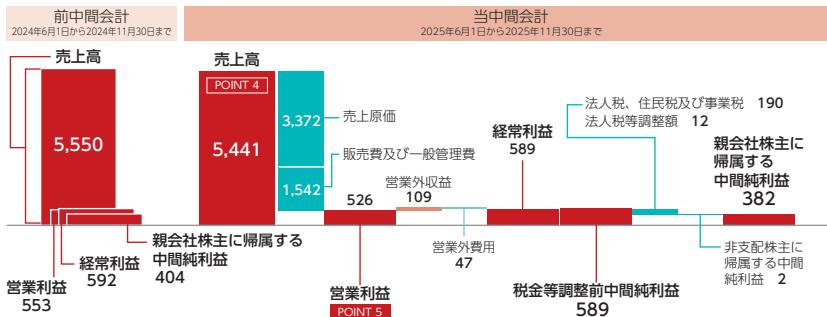
流动負債は、未払法人税等が減少したこと等により前期末比で9.3%減少しました。固定負債は、長期借入金が減少したこと等により前期末比で4.9%減少しました。

POINT 3

純資産の変動

純資産は、前期末から1.6%増加し、自己資本比率は、87.9%となりました。

連結損益計算書の概要



POINT 4

売上高の動き

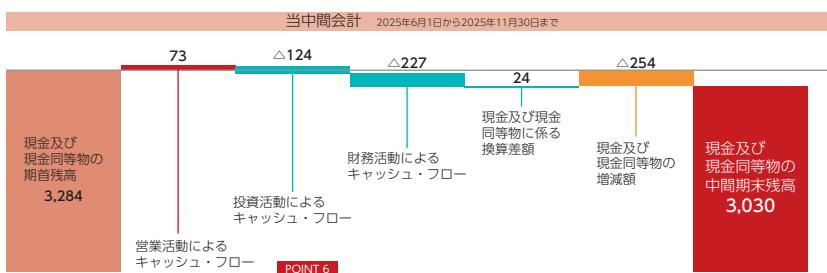
売上高は、前年同期比で2.0%減となりました。要素部事業は、海外地域向けの需要が回復基調で推移する中、自動応用製品は堅調に推移したもの、半導体関連の一部の大口顧客向けの需要が停滞したこと等により、総じて軟調に推移しました。システム製品事業は、半導体関連の需要の持ち直し基調が継続し、防衛業界向けの光学システム製品が好調に推移いたしました。

POINT 5

営業利益の動き

営業利益は、持続的な事業拡大に向けた人的投資や新工場稼働開始等により、人件費や減価償却費等が増加したものの、価格改定の効果及び継続的な生産性向上、コスト抑制の徹底等により、前年同期比4.8%減となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



POINT 6

キャッシュ・フローの状況

営業CFは、法人税等の支払等により減少しましたが、税金等調整前中間純利益、減価償却費による増加等があり、資金を獲得しました。

投資CFは、有形固定資産の取得による支出等により資金を使用しました。

財務CFは、配当金の支払い、長期借入金の返済の支出等による減少があり、資金を使用しました。

詳細な情報はこちらをご高覧ください。<https://www.sigma-koki.com/ir/document/>





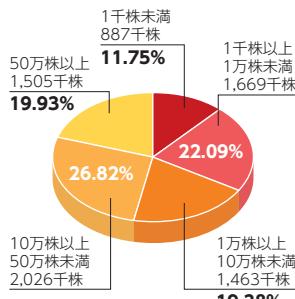
■ 株式の状況 (2025年11月30日現在)

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式総数	7,552,628株
株主数	5,826名 (前期末比6名増)
主要株主	

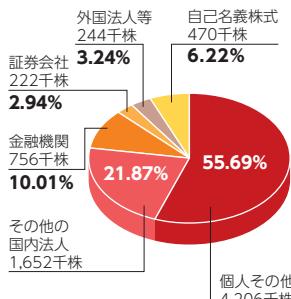
株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引持株会	505	7.14
光通信KK投資事業有限責任組合	397	5.61
株式会社ツシマ	228	3.23
シグマ光機従業員持株会	208	2.93
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社埼玉りそな銀行	153	2.16
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
杉山大樹	110	1.56
株式会社三井住友銀行	110	1.55

- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、自己株式 (470,450株) を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
 3. 自己株式 (470,450株) を含んでおります。

■ 会社概要 (2025年11月30日現在)

社名	シグマ光機株式会社
本社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設立	1977年 (昭和52年) 4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	385名
役員	代表取締役社長 近藤洋介 取締役 石井康之 取締役 多幡能徳 取締役 (社外) 小澤勉 取締役 (社外) 野崎誠 取締役 (社外) 松尾祐美子 取締役 (社外) セットジイヨン 常勤監査役 (社外) 上野健司 監査役 (社外) 南雲幸一 監査役 (社外) 熊崎美杉

(注) 社外取締役 野崎誠氏、松尾祐美子氏及び
セッジイヨン氏、社外監査役 上野健司氏
及び熊崎美杉氏の5氏は独立役員であります。

◆ 主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

◆ 関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- OptoSigma Germany GmbH
- 上海西格瑪光机有限公司
- LMS株式会社
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しております

視認性、判読性に優れたユニバーサル
デザイン(UD)書体を使用し、弱視・老
眼等視力の低下にお悩みの方にも読み
やすいよう配慮をしております。



株主メモ

事 業 年 度 每年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 每年8月開催
基 準 日 定時株主総会 每年5月31日
期末配当金 每年5月31日
中間配当を行う場合は、毎年11月30日

単元株式数 100株
公 告 方 法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告URL <https://www.sigma-koki.com/>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話 照会先) ☎ 0120-782-031 (通話料無料)
(インターネット ホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

(特別口座 口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話 照会先) ☎ 0120-288-324 (通話料無料)

株主の皆様の声をお聞かせください



右記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 7713sP5u

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力ををお願いいたします。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

 シグマ光機株式会社
東京本社 東京都墨田区錦1-19-9
TEL.03-5638-8221 (総務部)

UD
FONT

ミックス
紙に責任ある森林
管理を支えています
FSC® C013080
www.fsc.org

VEGETABLE
OIL INK